

Blue Colors

話題の重機女子
“Kaori”さんに聞く

女性が
活躍できる
現場とは

Special content

KAIGUMI
COMMUNICATION
MAGAZINE

2022
01



変 化

REVOLUTION





進化

EVOLUTION

成

DEVELOPMENT

長





話題の重機女子
“Kaori”さんに聞く

社長対談

女性が活躍できる現場とは！

文：シギー吉田 写真：菊池茂夫

ある日、パートで働く主婦のKaoriさんは、建設現場で働く重機に魅せられ、“私もあの重機を運転して働きたい”と本気で思い、がむしゃらに夢を追いかけて始める。それから8年、Kaoriさんは、現場で活躍しながら、“普通の女性でも働ける土木建設現場の魅力”をSNSで発信。また、テレビや雑誌などのメディアへ自らを露出し、ファンション性の高い作業着のモデルなどにも挑戦。重機女子として精力的に活動している。今回は、女性雇用を促進する今村社長が、女性が働ける現場の環境について、Kaoriさんにお話を伺った。

Kaori × 今村佳広

土木建設の現場が、魅力のある仕事だということを伝えたい

重機オペレーターの魅力とは

今村社長…重機オペレーターになったきっかけは？

Kaori…今から8年前、主婦をしていた29歳の時に、お掃除の仕事でパートに出ていた建物の横で工事を見ていたんです。自然破壊反対なので最初は嫌だなと思って見ていたのですが、次第に工事現場で働く重機のかっこよさに魅了されてしまったんです。ビルの上から工事現場が少しずつ完成されていく様子を毎日、見ているうちに、職場に行くのが楽しみになりました。で、「あの重機に乗りたい」と本気で思うようになってしまったんです(笑)。

今村社長…でも、そう感じてから実際に重機オペレーターになる人はそうはいないですよ？

Kaori…そうですね。仕事終わりにコンビニに行ったら、たまたま、いつも見ている重機に乗っている運転手さんに会って、しかも目があってしまったんです。運命ですね(笑)。私は勇気を出して、「私、その重機に乗って仕事してみたいんです」って話したんです。そうしたら、とても優しい運転手さんで「資格を取れば仕事ができるよ」といろいろアドバイスをしてくれて、私は、家に帰って、その資格を取る勉強を始めたんです。

今村社長…すごい行動力ですね。僕なんか気がついたら工事現場の中で育っていたんでその感覚はわからないんですが、どのへんが魅力的だったんですか？

Kaori…パートの休憩時間にビルの上から見ていたので、地中深くまで掘削したり、あつという間に土を運んだりといったダンブや



ショベルカーのパワフルで繊細な動きに夢中になってしまいました。しかも人によって重機の操り方が違うんです。私がコンビニで話をした運転手さんは、ダイナミックな動きが得意で、もうひとりの重機オペレーターは、丁寧で繊細な作業が得意。私はダイナミックな運転手さんのファンだったんです。

今村社長…もともと昔から乗り物とか車の運転とかに興味があったんですか？

Kaori…いや全く無いです。当時7歳だった息子が働く車のミニカーを持っていましたが、「一緒に遊んだりしませんでした(笑)」。旦那は車のディーラーで働いていました。車自体に私が関心を示したことはないですね。過去を振り返っても、中高生の時はサックスに夢中でしたし、父は普通のサラリーマン、母もパートを掛け持ちしている主婦。なぜ突然、重機に夢中になったかは自分でもよくわからないのですが、私は絶対にあの重機をうまく乗りこなせる」という自信があった、その未来の絵を頭の中で描くことができたんです。

今村社長…ご家族から反対はされなかったんですか？

Kaori…義母からは「なんでもっときれいな仕事をしないの?」と言われてました。その時は、なんで私が運命的に出会った憧れの仕事を「汚い」っていうの?と思いましたが、むしろ、そう言われたことで、絶対に重機の運転が上手になってかっこいい仕事だと理解してもらおうと決心が固まりましたね。いまはとても応援してくれています。

今村社長…資格試験を取るの簡単でしたか？

Kaori…まだ子どもが2歳にもなっていないだったので、長時間預けて、5日間ほどかかる講習での取得は不可能でした。そこでまず、大型特殊免許の一発試験を5回チャレンジして取得したんです。1回目は車のドアの開け方すら、わかりませんでした(笑)。

今村社長…チャレンジャーですね(笑)。免許をとって、どうやって仕事を始めたんですか？



Kaori…コンビニで話をした運転手さんに合格を報告したら、その運転手さんが喜んで、彼の会社を紹介してくれました。そして事務兼重機オペレーターとして雇って頂き、置き場でコンボ(ショベルカー)を使った残

肉体的なハンデは感じないが、トイレ問題は女性にとって大きい

どうすれば女性が現場で働けるのか

今村社長…はじめにコンボを運転した時にどう感じましたか？

Kaori…これがコンボに乗った時の視界なのかと感動しましたね。運転手さんからコンボに乗った時に見える風景を写メで送ってもらっていましたが、実際に目の前に広がる風景は格別で、夢が現実になった瞬間でした。

今村社長…その後、置き場ではなく、現場デビューするわけですが、現場は時間に厳格に動いていますし、最初は大変だったと思います。プレッシャーはありませんでしたか？

Kaori…それが全くなかったんです。ついに夢の舞台に立ったという感動がプレッシャーに勝っていたんでしょうね。それよりも自分がやりたい作業のイメージが次々と湧いてきたんです。まずはコンボで土をタンクに積み込む作業がしたくてたまらませんでした。積み込むだけじゃなくて積んだ土をコンボでならす。いかにきれいに積みかが職人の腕の見せどころなんです。これができた時の感動は一生忘れません。

今村社長…重機オペレーターになるために生まれた申し子ですね(笑)。現場ではまだ女性作業員は少ないと思いますが、苦勞されていることはありますか？

Kaori…最初は、女性作業員を受け入れる環境がまだ十分ではありませんでした。例えば

ば、1万坪ぐらいある大きな資材置き場でコンボに乗って作業してたのですが、トイレがなかったんです。ですから仕方なく、物陰に隠れて用を足していました。それを知った社長さんが置き場にトイレを作ってくれて、電気と水道まで完備してくれました。苦勞というより、皆の思いやりに感謝の日々です。

今村社長…女性が働くことで、職場の環境や雰囲気が変わるんですね。

Kaori…男性作業員の方々がトイレができた時は大喜びでした。皆が口々に「かおりちゃんに来てくれて、社長も人が丸くなった」と言っていました。現場に出るようになってからも、男性と比べて肉体的なハンデを感じることはないですね。ただトイレ問題は女性にとっては大きいと思います。新しい現場に清潔なトイレが有るだけで心が軽くなります。

今村社長…今はなぜ、独立してフリーの重機オペレーターとして活躍されているんですか？

Kaori…働かせて頂いていた会社が、現場工事を受注しない方針が変わってしまったんです。入社時からとても良くしていただいたので悩んだのですが、置き場でコンボを動かす仕事だけだと、自分のスキルが上がらないので、思い切って独立することにしました。私にとっての仕事のやりがいは、今ままでできなかったことを、ひとつずつできるよくなること。重機の操作は、奥の深い仕事で、今も夢を一つ一つ叶えている最中です。

母として職人として、どのような高みを目指すのか

今村社長…最近、現場で自分はまだまだ成長できるなと感じています(笑)。例えば、

Kaori…日々そう感じています(笑)。例えば、先日行った現場は、コンボでちょっと掘っただけで水が湧いてきたんです。するとコンボ

はどんどん土の中に落ちていくんです。水を含んだ土を外に出すと、その土の処分代が高くなりますから、なるべくキレイなまま外に出したい。そういう事態をいかに回避するかという時に、技量が問われるんですね。でも私は、ぬかるみにはまらないようにするだけで必死でした。正解は一つではなく、その回避の仕方は、重機オペレーターによって違います。様々な経験をして、状況に合わせて、臨機応変に対応していく力が必要なんです。そこが面白いところなんです。今は、フリーになったので、いろいろな先輩から技術を学べるようになりました。先輩方から技術を盗むという貪欲な姿勢で現場に向かっています。

今村社長…僕も全く同じ経験がありますよ(笑)。僕の場合、コンボがぬかるみにはまり、どうにも身動きができなくなると、助けを呼びました。ベテランの方が「しょうがないなあ、また、ハマっちゃったのか」と言いながら、周りに溝を掘って水はけを良くすると、あつという間に抜け出せたりするんですよ。奥が深い世界です。

Kaori…わかります。怖いですがね。実は体を使うだけではなく、頭を使う仕事なんですよ。甲斐組ではどのように人材を育成してらるんですか？

今村社長…会社では、育成係は一人に対して同じ先輩にしています。いろいろな技術を学ぶ段階です。まずは基礎を学んでもらいます。いろいろな方から学ぶとやり方が違うので初心者には混乱してしまうからです。基礎ができてようやく、いろいろな方法があると学び、自身で工夫しながら、一人前の職人になっていくと思っています。ちょっとプライベートなことになりますが、仕事と子育ての両立は、どうされていますか？

Kaori…4年前に離婚して、今はシングルマザーとしてフルタイムで働いています。私はなるべく働いている私の姿を小さいうちか

ら見てもらうようにしました。今は長男が中3で、下の娘が小5なので、私の仕事をよく理解してくれています。私がこうしてメディアなどに掲載されると、ふたりともとても喜んでくれるんです。最初はいつも一緒にいてあげられない罪悪感を感じましたが、自分の好きな仕事を見つけて、夢中になって働いている母親の姿を見てもらうほうが、子どもたちにとって良かったかなと感じられるようになりました。

今村社長…素晴らしいですね。現場が変わるごとに、場所も時間も違いますし、子育てをしながら働くというのは大変だったと思います。甲斐組では、今後、かおりさんのような女性が活躍できる環境を作るために、社内に託児所を開設するプロジェクトを3ヶ年経営計画に盛り込みました。もちろん男性社員のお子さんも預かる予定です。

Kaori…それは男性社員の奥さんにとっても魅力がある会社になりますね。旦那さんが

“私は絶対にあの重機をうまく乗りこなせる”という自信があった

子育てに理解がある会社に勤務していると、奥さんとしては本当に心強いと思います。コロナ禍で、突然、保育園がお休みになってしまい困ってしまった家族が、たくさんいたと思います。

今村社長…「お父さんが甲斐組で働いてくれてよかった」と奥さんや家族に思ってもらえる会社にすることがとても大切だと感じています。安心して長く働ける会社にしていきたいんです。例えば、子どもの授業参観に行きたくてもなかなか有給を取りたいと言えない会社が多いと思うんです。甲斐組は、まずはボスである上司が率先して育児休暇を取る「イクボス宣言」をし、会社



重機女子“Kaori”
(本名:東 香織)

建設現場の重機に魅せられ、普通の主婦から重機オペレーターへ転身。現在、シングルマザーとして二児を育てながら、フリーの重機オペレーターとしてユンボの技を磨いている。また建設業の良さ伝えるため、各メディアなどの露出にも積極的に応じている。趣味は、美容、料理、お菓子作り。

今村佳広
株式会社甲斐組代表取締役

土木建設会社の2代目として、物心ついた時には、飯場で職人さん達に囲まれていた筋金入りの現場の親分。学生時代にはラガーマンとして活躍し、チームの統率力には定評がある。最近では、甲斐組チャンネルを立ち上げYouTubeにも挑戦。土木業界の新しい未来を切り開こうと日夜奮闘中。

飯場の子

今村佳宏社長
自伝エッセイ

書：片山子龍

この物語を亡母、克子に贈りたい：

「僕の父親は建設会社の創業者で僕はその二代目であります」

この説明だけで僕の人間像を想像すれば、さぞかしボンボンなのだろうなあ、と思われる方がほとんどだと思う。確かにその見方は間違っていない。しかしながらその内容は少しだけ複雑なのである。

僕の父が建設会社甲斐組を創業したのは1967年（S42）の川崎市でありました。まさに高度経済成長時代であり、建設産業は右肩上がりの時代であった。そして縁があり1969年（S44）同じ神奈川県の大塚市に拠点を移すことになる。その2年後に僕は今村善美・克子の第三子長男として生まれた。おふくろは、会社の事務を担当し、赤子の僕と4つ年の離れた長女、年子の次女を育てながら、立ち上げたばかりの会社を必死に切り盛りしていた。だから物心ついた頃の僕の記憶には、自宅で家族と過ごした時間よりも、「飯場」での生活のほうが色濃く残っている。

「飯場」という言葉を最近あまり使わなにかもしれない。僕が生まれた昭和の時代には、交通の便が悪い山奥の炭鉱や大規模な工事現場に日本各地から「人夫」や「土方」と呼ばれる労働者が集まっていた。そして彼らが泊まり込みで作業をする場所を「飯場」と呼んでいた。

現在も工事現場には、プレハブの事務所が工事中間だけ設置されているが、現場の近く併設される簡易宿泊施設は安全衛生管理上、ほとんどなくなり宿泊場所が必要な作業員には冷暖房完備のアパートを提供されており、昔と比べて労働環境が格段に良くなっている。

甲斐組の飯場は、事務所と併設で自宅の前にあり、約15人ほどの作業員がそこで共同生活をしてきた。そこは、文字通り皆で飯を食う場所、まかないのおばちゃんがいる、毎日現場の若い衆のご飯を作ってくれたのだ。僕が今でも忘れられないのは、ドバシのおばちゃんと呼んでいたまかないさんで、まだ僕は5歳ぐらいだったのだが、おばちゃんの手でくれる塩のおむすびが大好きで、おばちゃんを見つけると「おむすび作ってー」といつもせがんでいた。飯場は、幼い僕にとって遊び場であり、生活の場であり、その後の人生の原点となる学びの場でもあったのだ。

当時の甲斐組は建設会社とはいいがたく、まさに土建屋だった。仕事の環境もかなり悪く、いわゆる「汚い」「きつい」「危険」の3Kどころか、いわゆるまともな社会人の働き場ではなかったと思う。当然ながら土建屋の社会的な地位も低く、見下されることもあった。飯場の裏に団地があるのだが、

全体で社員の育児を応援しています。**Kaori**…朝起きて、突然、子どもに熱があったり学校に行けないという状況は本当に今でも困ってしまいます。甲斐組のように、社長が理解のある会社ならば、本当に安心して働けますね。

重機女子“Kaori”とパパ 伝えたいこと

今村社長…僕は家族が病気の時には、すぐに社員に家に帰るように言っています。事務や経理といった管理部門で働いている社員だけでなく、現場で働く職人もすぐに帰宅できるようにしています。突然、誰かが急用で現場に来られない場合を常に想定して人員を配置すれば、工事がストップしてしまうなんていうことはないのです。いかに日頃から社員同士がコミュニケーションをとるかが大切なことです。少し話を交わらせてください。メディアに出演されるなど、様々な活動をされていますが、今後のビジョンをお教えいただけますか。

Kaori…私は土木建設の現場が、魅力のある仕事だということを伝えたいんです。多くの方は、私のような普通のママが、憧れてはじめてみる仕事だとは思っていませんよね。過酷な肉体労働というイメージがまず浮かんでくると思うんです。私の友人に聞いても、土木建設の仕事には、「汚い」というイメージがあるようです。「きつい」「汚い」「危険」の3Kです。私がメディアに露出することで、美容やファッションに興味がある普通の女性でも、十分にできる仕事だと知ってほしいんです。ですから、泥だらけの作業着のイメージを変えたくて、ファッションモデル的な作業着メーカーのモデルにも挑戦しました。とても画期的な作業着で、泥だらけの汚いイメージはなく、仕事の後に買い物や保育園のお迎えに安心していきます。

今村社長…かおりさんの活動をインターネット

子どもが駄々をこねて、グズグズと泣いていると、その子の母親が「いつまでも泣いていると甲斐組に入れちゃうよ」と言うのと、本当に泣いている子が黙ってしまう。そんな笑い話があるほど、まさに泣く子も黙る甲斐組だったのだ。

実際に、そこに集まる労働者は、他の世界では通用しないような荒くれ者も多く、酔っ払って大暴れするなどというトラブルは日常茶飯事。おふくろは、そんな環境で育った僕が、二代目として甲斐組の跡継ぎになることを望んでいなかった。「大きくならお前は、大学を卒業して大きな会社で働くんだよ」と、早くに父親を亡くし、貧しい家庭で育ったおふくろは、自分には叶えられなかった夢を息子の僕に託していたのだ。しかし飯場の子は、荒くれどもをまとめ上げる父親の圧倒的な力強さとその気風よさに憧れ、いつしか父親と同じ道を歩



一歳に満たない自分と母、場所は母の姉さんの川崎の団地。

トを通じて知り、我々企業側の経営者が襟を正して、組織と労働環境を変え、女性の受け入れ体制を整えなければいけないと今まで以上に感じています。現在、建設現場で大手ゼネコンの女性現場監督を見かけますが、土木の現場では、ほぼ女性監督は皆無です。僕は女性雇用を促進し、現場監督だけではなく、職人の育成もしていきたいと思っています。職人の世界も高齢化が進み、70代以上の離職率が上昇しています。しかし若者は増えず、常に人手不足の状態です。これを解消するために、外国人労働者を増やす方策は、どこでもやっています。が、僕は、ジェンダーフリーに舵を切って、女性労働者を増加させることを考えているのです。

Kaori…労働環境さえ整ってくれば、私のように、現場で働きたい女性はいると思うんです。子育て中でフルタイムでは働けなくても、半日働ける女性の職人がふたりいれば、現場の労働力になります。実際、昨年未だ、インスタで発信をはじめたら、3人のお子さんを育てているという女性からDMで相談をいただきました。現場は男の世界でパワハラやセクハラが横行してはいないかと心配していましたが、実際には全く逆で、申し訳なく感じるほど皆、優しく紳士的だとお伝えしました。女性でも技術を習得し、一人前の職人として認めてもらえれば、まさにジェンダーフリーな世界に足を踏み出せるのです。また、同世代の男性会社員と同じぐらいの給与をもらえますので、シングルマザーでも安心して子育てをしながら生計を立てられます。

今村社長…かおりさんの活動に注目が集まれば、行政も重い腰を上げて、土木建設現場での女性雇用の促進に本腰を入れて取り組むかもしれませんね。これからは是非一緒に、この業界を盛り上げていきましょう。今日はありがとうございました。**Kaori**…ありがとうございます。

み始めた。

甲斐組は今、昔とは比べ物にならないぐらい労働環境が良くなり、優秀な従業員が集う会社へと変貌を遂げた。そして僕は、社会的には、「会社社長」と呼ばれる立場になったが、気品漂う上流階級の人々が集う社交場よりも、額に汗をかき働いた、泥臭い男たちが集まり、大飯を喰らい、豪快に酒を飲む飯場が、いまだに気持ちが落ち着く僕の居場所である。

飯場は僕に人生で最も大切なことを教えてくれた。それは家族や仲間を大事にするということだ。それはいかえれば愛なのだと思う。その愛は信頼という強い絆を作り出し、どんな困難な事にも、皆で立ち向かえる力を与えてくれる。自分を信じる事、家族や仲間を愛せない人は、どんなに優秀でも、会社や組織、地域、国家、世界を愛することはできない。

インターネットには、情報が溢れているが、いくら高度な検索を駆使しても、僕は生きる術、人生を学べるとは思わない。同じ釜の飯を食い、仲間と語り合い、本気で喧嘩をする、そんな人間の持つ五感をフルに使った体験なくして、人は成長しないと思っているからだ。そんな偽りの全能感に満ちた時代だからこそ、僕は自分が育った人間味溢れる飯場の物語を無性に書いてみたくなったのだ。

「飯場の子」は、決して勉強ができるいわゆる出来のいい子ではなかったが、人間臭い飯場で育ち、多くの失敗を重ねながら成長してきた子なのだ。

さあ皆さん、本日から「飯場の子」が始まります。単なる無名な男の滑稽な自叙伝です。笑ってください、呆れてください、そして何かを感じてください。昭和、平成、令和と時代は流れ、血と汗と涙で地球を掘り起こす男たちが、大声で笑い、泣き叫び、闘いながら、でっかい仕事を成し遂げていきます。お楽しみに。

社員インタビュー

2022年はこんな年にしたい



入社2年目

営業管理部 村上さん

Interview

- ① 甲斐組に入社のかきかけ
以前働いていた会社を辞め、次の仕事を探しているときに共通の知人を介し荻野副社長に声をかけていただき入社する運びとなりました。
- ② 現在の仕事について
官公庁発注工事の入札・契約に関わる業務、積算、民間工事の見積作成、他事務業務等
- ③ 仕事のやりがい
日々学ぶ事も多く、失敗もありますが昨日の自分より何か少しでも出来る事が増えていくことにやりがいを感じます。
- ④ 会社の雰囲気
和やかだったり締まったりメリハリのある感じだと思います。
- ⑤ これからの目標
様々な資格の習得をしていき、大きな仕事に携わっていきたいです。
- ⑥ 応募者へ一言
楽しく仕事をしましょう！そして共に成長していきましょう。

Profile

- | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| ① 趣味や休日の過ごし方
最近サウナにハマってます。 | ④ 好きな言葉
NO PAIN, NO GAIN | ⑥ 好きなタレント
松重 豊 |
| ② 好きなスポーツ
格闘技 | ⑤ 格言
抜け出すための一番の方法は、やり抜く事 | ⑦ 好きな歌
Express/HIDETAKE TAKAYAMA |
| ③ ペット
ペットはいません。が猫が好きです | | |



入社3年目

建築事業部 木村さん

Interview

- ① 甲斐組に入社のかきかけ
知人の紹介による
- ② 現在の仕事について
建築部：現場代理人
- ③ 仕事のやりがい
発注者や業者との意見調整にやりがいを感じる
- ④ 会社の雰囲気
アットホーム
- ⑤ これからの目標
資格を取得し、監理技術者を兼ねたい
- ⑥ 応募者へ一言
スキルを磨きやすい環境

Profile

- | | | |
|---------------------------|-------------------|--------------------------|
| ① 趣味や休日の過ごし方
少年サッカーコーチ | ④ 好きな言葉
七転び八起き | ⑥ 好きなタレント
誰にも興味が無いんです |
| ② 好きなスポーツ
サッカー、フットサル | ⑤ 格言
不撓不屈 | ⑦ 好きな歌
80年代ユーロビート(笑) |
| ③ ペット
現在無し、熱帯魚を復活したい | | |



入社9年目

施工部 長田さん

Interview

- ① 甲斐組に入社のかきかけ
転職する際、今までとは全く違う職種を探しました、家族との時間も取りやすい職業を探した結果縁があり甲斐組に入社させていただきました。
- ② 現在の仕事について
今までは主にフィニッシャーのオペレーターとして作業してきましたが新しいことにも挑戦し始めてとても楽しく仕事をしています。
- ③ 仕事のやりがい
資格も取得することができ、少しずつでも自分が成長出来ていて毎日が充実しています。
- ④ 会社の雰囲気
上司・同僚共に話しやすく、相談しやすい。
- ⑤ これからの目標
自分の事だけでなく、周り全体に記を配り仕事の効率を上げ、品質向上を目指す。
- ⑥ 応募者へ一言
どんな仕事でも覚えるまでが大変ですが一緒に歩み、楽しく仕事をしましょう。

Profile

- | | | |
|-----------------------------------|---|---------------------|
| ① 趣味や休日の過ごし方
ドライブ・子供たちとのテレビゲーム | ④ 好きな言葉
質実剛健 | ⑥ 好きなタレント
ピンクレディ |
| ② 好きなスポーツ
サッカー | ⑤ 格言
やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。(山本五十六) | ⑦ 好きな歌
サウスパー |
| ③ ペット
無し | | |



入社6年目

土木工務部 中田さん

Interview

- ① 甲斐組に入社のかきかけ
元々土木の資格を持っていて、転職先を探していたら甲斐組を見つけ応募しました。
- ② 現在の仕事について
主に公共工事の舗装工事をメインに施工しています。
- ③ 仕事のやりがい
現場が終わった時の達成感
- ④ 会社の雰囲気
とても良い会社だと思います。
- ⑤ これからの目標
まだ一級土木の資格を持っていないので、資格の取得
- ⑥ 応募者へ一言
個性的な人が多く、楽しい会社です。

Profile

- | | | |
|--------------------------------|--------------------------|--------------------|
| ① 趣味や休日の過ごし方
家族と過ごす時間が多いです。 | ④ 好きな言葉
七転八起 | ⑥ 好きなタレント
綾瀬はるか |
| ② 好きなスポーツ
野球 | ⑤ 格言
あきらめたらそこで試合終了ですよ | ⑦ 好きな歌
KING GNU |
| ③ ペット
猫一匹 | | |

協賛企業一覧

有限会社小山直樹一級建築士事務所	〒253-0084	神奈川県茅ヶ崎市円蔵 2-8-1
西湘アスコン株式会社	〒258-0002	神奈川県足柄上郡松田町神山 985
株式会社セイケン	〒254-0915	神奈川県平塚市出縄 84-5
第一カッター興業株式会社	〒253-0071	神奈川県茅ヶ崎市萩園 833 番地
株式会社ハイグレード	〒243-0203	神奈川県厚木市下荻野 1068-1
株式会社大斗総建	〒259-1135	神奈川県伊勢原市岡崎 6837-5
太陽建機レンタル株式会社	〒254-0005	神奈川県平塚市城所 643-1
丸忠建工株式会社	〒230-0071	神奈川県横浜市鶴見区駒岡 2-13-7
株式会社カナモト	〒254-0012	神奈川県平塚市大神 1211-1
湘南サッシ株式会社	〒254-0012	神奈川県平塚市大神 3421-4
有限会社サンセック	〒257-0015	神奈川県秦野市平沢 180-10
株式会社まるきん創建	〒250-0314	神奈川県足柄下郡箱根町畑宿 114-1
平塚アスコン共同企業体	〒259-1213	神奈川県平塚市片岡字長橋 133
シンレキ工業株式会社	〒210-0867	神奈川県川崎市川崎区扇町 6-2
有限会社相模建材興業	〒254-0812	神奈川県平塚市松風町 28-41
湘南アスコン	〒253-0114	神奈川県高座郡寒川町田端 1577
株式会社丘電機	〒254-0822	神奈川県平塚市董平 9-10

新3K! 給与・休暇・カッコイイ!!

しっかり働いて、しっかり休む!
休日105日+5日
 当社はイクボス宣言企業です!!



BIG4



甲斐組の神奈川県一の社員還元

特別手当制度

あなたの頑張りが
甲斐組を支えてくれます!

社員還元

1

- 報奨金制度 (優秀工事 80 点以上)
加算制度 10 万円～
- 知事表彰や市長の表彰工事
加算制度 10 万円
- 業務貢献手当最大 5 万円
- ファインプレー手当
- コミュニケーション企画手当最大 3 万円
- 無事故無災害
現場従事者全員に月間無事故無災害達成すると
役立つものを支給

資格支援制度

スキルアップしたい方!
支援します!!

社員還元

2

- 運転免許取得費用 全額補助
- 各種資格 (国家資格含む) 全額補助

祝い金制度

本人やご家族への
感謝の気持ちです!

社員還元

3

- 本人誕生日 商品券支給
- 奥様の誕生日 商品券及びお花
- 入学祝い金 (小学校～大学まで)
- 結婚祝い金
- 新築祝い金
- 勤続祝い金 (リゾートトラスト利用)

ご苦労さん制度

本業務以外に会社事業に協力
してくれる方ありがとうございます!

社員還元

4

- リフレッシュ休暇あり
- お祭り実行委員
地域貢献手当として支給
- フェスタ実行委員
フェスタの実行委員長、副委員長、実行メンバーへ支給

是非WEBに
アクセスください

KAIGUMI
KAIGUMI-GROUP since1969

株式会社 甲斐組

〒254-0001 神奈川県平塚市大島1025
TEL. 0463-55-8890



建設業界・地域の面白い事を
発信するチャンネル

KAIGUMI チャンネル



毎週金曜日18時に配信

チャンネル登録
お願いします

